



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月7日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名  
コード番号 3577 URL <https://www.tokai-senko.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷲 裕一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 河西 勝 TEL 052-856-8141  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,120	1.4	△142	—	△149	—	△127	—
2023年3月期第1四半期	3,077	17.9	△89	—	△59	—	△103	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 208百万円 (44.0%) 2023年3月期第1四半期 144百万円 (52.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△40.26	—
2023年3月期第1四半期	△32.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,210	7,408	44.6
2023年3月期	13,938	7,316	44.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,341百万円 2023年3月期 6,230百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	6,700	9.9	30	—	20	—	△30	—	△9.44
通期	14,000	7.2	500	864.1	500	163.6	200	—	62.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	3,614,252株	2023年3月期	3,614,252株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	457,319株	2023年3月期	457,215株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	3,156,981株	2023年3月期1Q	3,204,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計会計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済社会活動正常化が進み、賃上げによる個人消費拡大や人流の活発化、企業のペントアップ投資やDX化・脱炭素化などの設備投資が推進されるなど、景気は緩やかな回復を続けております。

しかしながら、猛暑などの気候変動や地政学リスクの高まりによる資源・エネルギー価格の高騰、円安進行に伴う物価上昇、世界的な金融引締めによる海外経済の減速懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、国内染色加工事業では、原材料・エネルギー価格が高止まりするなか、加工料金の継続的な値上げや、設備の改善・改良、工程合理化、薬剤使用量削減などのコストダウン活動に注力しました。

また、環境に配慮した節水活動、CO2排出量削減、薬品回収・再利用など、SDGsの達成に向けた取組みについても継続実施をしております。

海外染色加工事業では、国内同様、原・燃料高の影響を受けるなか、生産性向上や生産効率化、各種コストダウン活動を推進したほか、新規取引先の開拓など受注増加に向け、取組みを強化しております。

保育サービス事業では、企業内保育所の運営受託や新規イベント託児の受託、保育用品の定額制レンタルサービスの拡大に注力しました。

洗濯事業では、人流の活発化や各種イベントの回帰によるホテルリネン・レジャー関連の回復、新規商材の取込みなど、取扱数量の増加を推進しました。また、エネルギー・燃料高に対応するため、価格の再改定についても実施しました。

これらの結果、売上高は3,120百万円（前年同期比1.4%増、43百万円増）となり、営業損失は142百万円（前年同期は営業損失89百万円）、経常損失は149百万円（前年同期は経常損失59百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は127百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失103百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### a. 染色加工事業

染色加工事業は、売上高は2,121百万円（前年同期比5.7%減、128百万円減）となり、営業損失は186百万円（前年同期は営業損失101百万円）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

##### （加工料部門）

国内では、捺染受注の低迷により加工数量は減少しましたが、無地染め受注の増加および、加工単価改定により増収となりました。原材料・エネルギーなど全てのコストが高止まりするなか、十分な価格転嫁には至っておらず、使用原単位削減など、コスト削減活動に注力するも売上原価率は悪化しました。

海外では、主力のインドネシア子会社において、物価高による低所得者層の購買意欲の低下などの影響により、店頭販売が振るわず製品在庫過多の状態が続き、受注低迷により減収となりました。

また、タイ国子会社は、前期末をもって捺染事業から撤退しており、大幅な減収となりました。

これらの結果、加工料部門の売上高は1,656百万円（前年同期比6.3%減、111百万円減）となりました。

##### （テキスタイル販売部門）

国内では、アパレル受注が好調に推移、売上単価の上昇から増収となりました。

また、海外においては、インドネシア子会社では、レバラン休暇に向けた追い込み受注に盛り上がりを欠き、減収となりましたが、タイ国子会社においては、日本向けの受注拡大により、増収となりました。

これらの結果、テキスタイル販売部門の売上高は464百万円（前年同期比3.5%減、16百万円減）となりました。

#### b. 縫製品販売事業

縫製品販売事業では、新型コロナウイルス感染症に対する規制緩和に伴う各種イベント再開による浴衣などのイベント関連商品や、エプロンなどの縫製品販売数量の増加により、売上高は96百万円（前年同期比42.5%増、28百万円増）、営業利益は12百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

#### c. 保育サービス事業

保育サービス事業は、新規拠点増加やイベント託児、株式会社マミーズの連結子会社化が増収に寄与したものの、保育所運営費や販売管理費の増加により、売上高は797百万円（前年同期比13.0%増、91百万円増）、営業損失は8百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

d. 倉庫事業

倉庫事業は、新規取引先の開拓及び取組みに注力するも、荷扱い量の減少、燃料価格や運賃などの各種コスト上昇の影響を受け、売上高は56百万円（前年同期比5.9%減、3百万円減）、営業利益は0百万円（前年同期比92.6%減、5百万円減）となりました。

e. 機械販売事業

機械販売事業は、新型コロナウイルス感染症に対する各種規制緩和に伴う営業活動の再開により、保守点検作業や新規受注が増加し、コロナ禍で停滞していた海外での設備納入が進んだことから大幅な増収となり、売上高は49百万円（前年同期比1,103.6%増、45百万円増）、営業利益は16百万円（前年同期は営業損失9百万円）となりました。

f. 洗濯事業

洗濯事業は、ホテルリネンの回復、新規アイテム受注による取扱量の増加、原材料・エネルギー価格高騰に対応するため価格改定や生産性向上・体制見直しを実施した結果、売上高は32百万円（前年同期比19.6%増、5百万円増）、営業利益は3百万円（前年同期比392.0%増、2百万円増）となりました。

g. その他事業

当セグメントには、システム事業、不動産賃貸事業が含まれており、売上高は23百万円（前年同期比0.9%増、0百万円増）、営業利益は19百万円（前期比2.2%増、0百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、14,210百万円（前連結会計年度末比2.0%増、272百万円増）となりました。これは主に受取手形の増加80百万円、売掛金の減少156百万円、機械装置及び運搬具の増加66百万円、投資有価証券の増加319百万円等によるものです。

負債は、6,801百万円（前連結会計年度末比2.7%増、179百万円増）となりました。これは主に短期借入金の増加270百万円、賞与引当金の減少50百万円、長期借入金の減少180百万円、その他固定負債の増加113百万円等によるものです。

純資産は、7,408百万円（前連結会計年度末1.3%増、92百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失による減少127百万円、配当金の支払いによる減少63百万円、その他有価証券評価差額金の増加228百万円、為替換算調整勘定の増加72百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては、2023年5月8日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,501,809	2,479,498
受取手形	142,568	222,933
売掛金	1,867,903	1,711,753
電子記録債権	650,877	653,786
商品及び製品	311,554	278,735
仕掛品	409,170	426,761
原材料及び貯蔵品	430,310	449,292
その他	251,521	306,040
貸倒引当金	△14,871	△16,214
流動資産合計	6,550,843	6,512,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,443,375	1,431,934
機械装置及び運搬具（純額）	1,625,970	1,692,561
土地	1,768,634	1,773,108
建設仮勘定	7,033	22,825
その他（純額）	159,277	81,203
有形固定資産合計	5,004,291	5,001,633
無形固定資産		
のれん	23,413	22,035
その他	87,610	83,664
無形固定資産合計	111,024	105,700
投資その他の資産		
投資有価証券	2,045,801	2,364,893
その他	307,611	306,817
貸倒引当金	△81,466	△81,466
投資その他の資産合計	2,271,946	2,590,244
固定資産合計	7,387,262	7,697,578
資産合計	13,938,105	14,210,166

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	645,539	629,222
電子記録債務	624,714	644,978
短期借入金	1,380,000	1,650,000
未払法人税等	78,177	57,368
賞与引当金	121,958	71,753
その他	930,860	1,017,390
流動負債合計	3,781,251	4,070,712
固定負債		
長期借入金	1,390,000	1,210,000
役員退職慰労引当金	28,165	11,760
退職給付に係る負債	728,165	700,675
資産除去債務	93,802	94,089
その他	600,338	714,291
固定負債合計	2,840,472	2,730,816
負債合計	6,621,723	6,801,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,373,765	1,183,517
自己株式	△701,988	△702,108
株主資本合計	6,371,898	6,181,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614,797	843,187
繰延ヘッジ損益	—	1,328
為替換算調整勘定	△734,722	△662,011
退職給付に係る調整累計額	△21,844	△22,171
その他の包括利益累計額合計	△141,769	160,332
非支配株主持分	1,086,253	1,066,774
純資産合計	7,316,382	7,408,636
負債純資産合計	13,938,105	14,210,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,077,528	3,120,528
売上原価	2,814,829	2,856,993
売上総利益	262,698	263,534
販売費及び一般管理費	351,798	406,084
営業損失(△)	△89,100	△142,549
営業外収益		
受取利息	115	2,262
受取配当金	26,231	29,543
為替差益	4,059	—
雑収入	5,134	2,770
営業外収益合計	35,541	34,576
営業外費用		
支払利息	3,356	4,011
為替差損	—	33,713
雑支出	2,925	3,661
営業外費用合計	6,282	41,386
経常損失(△)	△59,841	△149,358
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	24,429
国庫補助金	105,897	—
特別利益合計	105,897	24,429
特別損失		
固定資産圧縮損	105,897	—
特別損失合計	105,897	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△59,841	△124,928
法人税、住民税及び事業税	17,125	12,553
法人税等調整額	15,262	10,997
法人税等合計	32,388	23,551
四半期純損失(△)	△92,229	△148,480
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11,280	△21,372
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△103,509	△127,107



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△92,229	△148,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83,062	228,389
繰延ヘッジ損益	—	1,328
為替換算調整勘定	155,854	127,443
退職給付に係る調整額	△1,803	19
その他の包括利益合計	237,112	357,180
四半期包括利益	144,883	208,700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,079	172,949
非支配株主に係る四半期包括利益	76,803	35,750

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	2,245,598	67,049	705,713	10,102	4,127	26,759	3,059,350	18,177	3,077,528	—	3,077,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,827	1,006	—	50,085	—	369	55,287	5,004	60,291	△60,291	—
計	2,249,425	68,055	705,713	60,187	4,127	27,128	3,114,638	23,181	3,137,820	△60,291	3,077,528
セグメント利益又は損失(△)	△101,376	△873	△3,051	5,849	△9,437	619	△108,270	18,630	△89,640	540	△89,100

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額540千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「保育サービス事業」において、当第1四半期連結会計期間に株式会社マミーズを株式取得により子会社化したことに伴いのれんが増加しております。当該のれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において27,544千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	機械 販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	2,121,330	94,794	797,571	6,458	49,683	32,251	3,102,089	18,438	3,120,528	—	3,120,528
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,171	—	50,172	—	188	52,532	4,953	57,486	△57,486	—
計	2,121,330	96,966	797,571	56,631	49,683	32,440	3,154,622	23,391	3,178,014	△57,486	3,120,528
セグメント利益又は損失(△)	△186,553	12,841	△8,440	434	16,542	3,045	△162,129	19,040	△143,089	540	△142,549

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額540千円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。